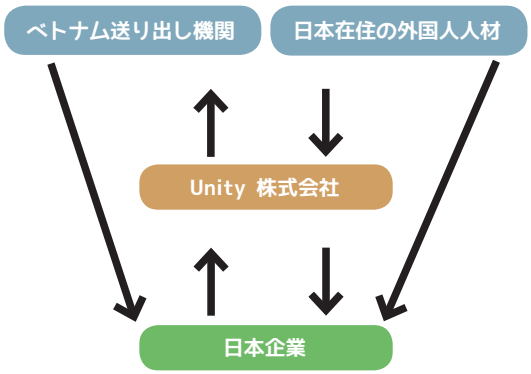
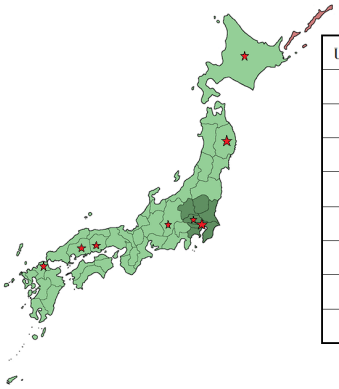
地域を育む 企業と人

ベトナム人と日本の間をつなぐ架け橋として外国人実習生や企業のサポートを行う





Unity株式会社の実績	
北海道	40人
広島	28人
東京	18人
福岡	7人
名古屋	5人
岡山	3人
埼玉	2人
岩手	2人

代表取締役
平野 ドアン

Unity 株式会社

広島県広島市西区己斐本町
1丁目23番15-711号
URL：https://unityjinzai.jp

ベトナムで生まれ育ち、2002年に来日したという平野社長。整備士やエンジニアとして働く中で、自身と同じように日本で暮らし、働くベトナム人をサポートしたいという思いに至り、2020年4月に『Unity』を設立した。本日はタレントの布川敏和氏が訪問し、社長にインタビューを行った。

——まずは、平野社長の歩みから。

ベトナム出身で、元々技能実習生として来日したのです。実習期間は3年間だけなので一度帰国したのですが、その後は留学生として再び来日しました。日本語を学びながら車関係の専門学校で学び、車の整備士として働きました。その後、人材関係の仕事に転職したのですが、日本で働くベトナム人と話をするうちに、生活でも仕事でも困っている人がたくさんいることを知りまして。言葉の壁はもちろん、文化の違いも大きいのだと思います。それからベトナム人と派遣先の企業の間に入ってサポートを行うようになり、2020年4月に正式に独立を果たした次第です。

——こちらでも、ベトナムの方のサポートを中心に事業展開をされているのですか。

ええ。事業内容としては、ベトナム人を中心とする外国人エンジニアの紹介事業、特定技能・技能実習のフォロー事業、ベトナムでの日本語教育センター事業、登録支援機関業務、通訳・翻訳業務などを行っています。

——外国の方と企業、双方にとって心強い存在ですね。

私自身、日本企業で約8年間エンジニアとして働いた経験があるのですが、日本で高度な技術を学び、日本独自の文化に触れる中で、日本が大好きになっていったんです。日本を第二の故郷と感じるようにもなり、2019年には帰化もしました。その中で、大好きな日本と祖国であるベトナムとの架け橋になれたらという思いが芽生え、独立に至りました。しかし、立ち上げ当初の2020年はちょうどコロナの感染拡大が始まっていて、ベトナムからは人が入ってこない状態でした。けれども日本で働いているベトナム人はいますし、日本で働きたいという思いを持ちながらベトナムで暮らしている人も多いので、その中でできることを実践してきました。

——日本ではどの業界も人材不足になっていますから、需要は大きいですよね。

ええ。労働力を外国人に求める企業も増えていますが、企業側としても技能実習生を受け入れたり、外国人を雇用することに、文化の違いなどの面から不安をお持ちなんです。そこで当社が間に入って、ベトナム人をサポートするだけでなく、企業側のサポートも行っていけたらと取り組んできました。逆に技能実習生側からしても、分からないことだらけです。ゴミの出し方も違いますし、深夜に洗濯機を回して近隣の人とトラブルになる例もあります。110番や119番もベトナムとは違う番号ですし、そういった生活に密着したところからアドバイスを行っているんですよ。

——きめ細かくサポートされているんですね。最後に、今後についてはどのような展望をお持ちでしょうか。

これからは外国人の人材派遣も行っていきたいですね。後は広島で講習センターを作りたいです。その中で皆さんが困っていることを聞いて、サポートしていく。今もそういったことはやっていますが、もっと大きく展開していけたらと思っています。また、今はベトナム人をメインにしていますが、将来的には他の国の人たちも対象にしていきたいと考えています。

ゲストインタビュアー
布川 敏和（タレント）

「平野社長は日本語も流暢ですし、異国で頑張っておられるベトナム人の方々にとっても、雇用主にとっても頼りになる存在だと感じました。今後も外国人の労働力は必要不可欠ですし、活躍の場面もますます広がりそうですね」

© 2022 USP-Management Co., Ltd.